

(別紙様式2)

令和4年度練馬区学童クラブ待機児童対策計画

令和3年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

263人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

平成28年度から、練馬型放課後対策事業「ねりっこクラブ」を進めることで、定員拡大を図ってきたが、練馬区においては6～11歳の小学生人口が増加傾向にあり、学童クラブの需要も拡大している。今後もおおむね同様の傾向が続くことが見込まれ、ねりっこクラブの推進と併せて待機児童への居場所提供が必要なため。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

一体型事業「ねりっこクラブ」の特性を生かし、すべての保育を必要とする低学年児童を対象に学童クラブまたは学童クラブに準ずる居場所づくりを行う。

(2) 具体策

小学校内の施設を活用した、「ねりっこクラブ※」を引き続き推進し、早期の全校実施を目指す。並行する学童クラブ待機児童対策として、ねりっこ学童クラブの待機児童を対象に、ねりっこひろば事業終了（午後5時：冬期は午後4時半）後のひろば室を利用して、学童クラブに準ずる安全な居場所を提供する「ねりっこプラス」を実施している（令和3年度から）。今後実施するねりっこクラブにおいても、待機児童への居場所提供のため、ねりっこプラスを実施していく。

※ 学童クラブと「ひろば事業（放課後子供教室）」の機能・特色を維持しながら一体的運営を行う事業であり、「ねりっこ学童クラブ」、「ねりっこひろば」から成る。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

ねりっこクラブの推進により、学童クラブ受入枠を拡大するとともに、現に生じている学童クラブ待機児童に向けた「ねりっこプラス」を実施することで、ねりっこクラブ実施校においては、学童クラブの待機を実質的に解消することができる。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	34,807	34,950	35,081	35,271	35,394
増減	—	143	131	190	123
登録児童数	—	5,141	5,434	5,689	6,074
増減	—	—	293	255	385
待機児童数	—	316	353	285	263
増減	—	—	37	▲ 68	▲ 22

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	35,573	35,533	35,543	▲ 263
増減	179	-40	10	
登録児童数	7162	7540	7672	
増減	1,088	378	132	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	・区内8小学校でねりっこクラブを開始 ・区内26校でねりっこプラスを実施	・区内7小学校でねりっこクラブを開始 ・ねりっこ学童クラブの待機児童が発生した小学校でねりっこプラスを実施	・区内7小学校でねりっこクラブを開始 ・ねりっこ学童クラブの待機児童が発生した小学校でねりっこプラスを実施	
待機児童数	264	0	0	
増減	1	▲ 264	0	